

ビデオ講座「キリスト教史」講義予定表(講師:内藤幹子)
＜テーマ＞物語のあらすじを掘む

回	学習テーマ及び内容
1	【古代】アウトライン、最初期の「教会」、使徒教父 他
2	【古代】キリスト教への迫害、護教家教父 他
3	【古代】ローマとの関係、教理論争 他
4	【古代】西方の教父たち、西方キリスト教古代の終焉 他
5	【中世】西方の中世キリスト教(5～15世紀)
6	【中世】東方のキリスト教(～11世紀) 他
7	【宗教改革】ドイツ、スイスの宗教改革
8	【宗教改革】宗教改革の「傍流」 他
9	【近代】宗教改革の「その後」、敬虔主義
10	【近代】啓蒙思想の発展 他
11	【近代】19世紀西欧の神学 他
12	【現代】二つの世界大戦とキリスト教 他
13	【日本】日本とキリスト教の出会い
14	【日本】日本におけるキリスト教の迫害
15	【日本】明治・大正期、戦争と日本のキリスト教

本講義は、受講者がキリスト教の歴史(世界、日本)の「あらすじ」「見取り図」を理解し、その知識を基に自分自身でその後の学びを深めていくことができるようになることを目指すものです。また、その「ストーリー」の中に登場する人物やキリスト教神学思想についての基礎知識を得ることができる内容でもあります。

特定のテキストに沿って進めていない部分が大半であるため、可能であれば、講義で取り扱っている内容について記した書籍や、用語・人物について調べるための辞典類をお手元に置いておくことをお勧めします。

・テキスト:特にありません。

**ビデオ講座「ギリシャ語 B」講義予定表(講師:城倉啓)
<テーマ>マルコ福音書を読む**

回	学習テーマ及び内容
1	マルコ 1:1-2
2	マルコ 1:3-4
3	マルコ 1:5-6
4	マルコ 1:7-8
5	マルコ 1:9-10
6	マルコ 1:11-12
7	マルコ 1:13-14
8	マルコ 1:15-16
9	マルコ 1:17-18
10	マルコ 1:19-20
11	マルコ 1:21-22
12	マルコ 1:23-24
13	本文批評とは。写本の家系。底本と異説。
14	マルコ福音書で本文批評を行いましょう
15	マルコ福音書で本文批評を行いましょう

「原典で聖書を読むことは 10 冊の注解書を読むことにまさる」と言われます。聖書を原典で読みたいという志を心から応援しています。

マルコ福音書は最古の福音書です。著者マルコは、パウロと緊張関係を持ちながら活動した初代教会指導者です。彼の第一言語はアラム語・ヘブル語、ギリシャ語は第二言語です。アラム語・ヘブル語なまりのギリシャ語で書かれたギリシャ語であることは、独特の味わいをもたらしています。

原典を読むにあたって、まずは単語を品詞に分類し、ばらばらに分析します。次に意味を成す一文へと統合していきます。ギリシャ語から日本語への翻訳のポイントは「時称の違い」「分詞の用法」です。最後の 3 回で、写本(底本)、本文批評という考え方と実際を取り扱います。いざ原典の大航海へ。

・テキスト: Nestle-Aland Novum Testamentum Graece, Deutsche Bibelgesellschaft Stuttgart (26 版以降)。岩隈直『増補改訂ギリシャ語辞典』山本書店(増補初版 1982 年)。岩隈直『増補改訂ギリシャ語逆引辞典』山本書店(増補初版 1989 年)。野口誠『聖書検定ギリシア語公式テキスト【初級】・【上級】』聖書検定協会(2023 年)。田川建三『書物としての新約聖書』勁草書房(2001 年)。

【追加】『ネストレニアーラント ギリシャ語新約聖書(第 28 版)・序文』津村春英訳、2013 年、日本聖書協会

・参考書: 大貫隆『新約聖書ギリシア語入門』岩波書店(初版 2004 年)

**ビデオ講座「ヘブル語 B」講義予定表(講師:城倉啓)
<テーマ>みことばを味わい尽くそう**

回	学習テーマ及び内容
1	詩編 23:1
2	レビ記 19:18
3	伝道者の書 1:1-2
4	申命記 6:4-5
5	出エジプト記 3:11-12
6	出エジプト記 3:13-14
7	箴言 8:22-25
8	列王記第一 19:8-9
9	創世記 1:1-5
10	ヨブ記 38:1-4
11	ミカ書 4:1-3 イザヤ書 2:2-4
12	ミカ書 4:1-3 イザヤ書 2:2-4
13	本文批評とは 写本の歴史 底本と異読 死海写本
14	本文批評の実際 創世記 1:1-5
15	本文批評の実際 ミカ書 4:1-3 イザヤ書 2:2-4

旧約聖書の有名な聖句 11 か所を、原典でじっくりと読み解き、自分訳を創り出すことをめざします。

テキスト『ヘブル語文法の手ほどき』に基づいて、音読・暗号解読・単語のおさらい・統語・自分訳(・なぞり書き)を行い、原典を味わいます。最後の 3 回で本文批評について紹介し、原典の奥行きをも知ります。原典の大航海へようこそ。

・テキスト: *Biblia Habraica Stuttgartensia*, Deutsche Bibelgesellschaft Stuttgart, 1977。『ヘブル語文法の手ほどき』『ヘブル語のススメ』『ヘブル語語彙集』、いずれも、いのちのことば社、城倉啓著。『BHS のマフテアハ』(PDF 版を配布します)

・参考書: 谷川政美『聖書ヘブライ語日本語辞典』ミルトス、2018 年。

**ビデオ講座「アラム語」講義予定表(講師:城倉啓)
＜テーマ＞イエスの用いた言語を学ぶ**

回	学習テーマ及び内容
1	アラム語とは。セム語族の中のアラム語。アラム語とヘブル語の関係。
2	旧約聖書のアラム語部分。新約聖書に散見されるアラム語部分。 アルファベット 母音記号 音節 固有名詞
3	人称代名詞 冠詞 前置詞
4	接続詞 名詞
5	人称語尾 副詞 存在・非存在 間投詞 形容詞
6	指示代名詞 数詞
7	動詞の基本①: 語根 視座 人称・性・数
8	動詞の基本②: 語幹 語幹ごとの人称接頭辞と人称接尾辞の特徴
9	未完了視座のバリエーション 命令形 分詞 不定詞等
10	動詞の人称語尾
11	不規則な動詞①: 喉音動詞 I アレフ動詞 I ヌン動詞 I ヨッド動詞
12	不規則な動詞②: 二語根動詞 IIIへ一動詞 II-III動詞
13	エズラ記を読もう
14	ダニエル書を読もう
15	新約聖書の中のアラム語 まとめ

旧約聖書にはアラム語で書かれた部分があります。大きな塊は①ダニエル書 2 章 4 節b～7 章 28 節、②エズラ記 4 章 8 節～6 章 18 節、同 7 章 12 節～26 節の二書にあります。この講義ではヘブル語文法を復習しながら、アラム語の文法を学びます。両者の文字は同じですし、文法もよく似ていますから大丈夫です。実際の聖句を読んでみましょう。さらに新約聖書の中に散りばめられたアラム語についても解説していきます。「アッバ」「エロイ・エロイ・ラマ・サバクタニ」「マラナタ」、これらはみなアラム語です。

・テキスト: 講師自作の聖書アラム語の教科書(未出版)を PDF ファイルで配付いたします。城倉啓『ヘブル語のススメ』いのちのことば社、2022 年。Biblia Habraica Stuttgartensia, Deutsche Bibelgesellschaft Stuttgart, 1977。谷川政美『聖書ヘブライ語日本語辞典』ミルトス、2018 年。